

# みんなの質問 ～さあ、ミライの話をしよう～



従業員が感じる「現状(今)」と会社の「将来像(未来)」を「繋ぐ場とする」  
「ミライの働き方」を風林さんと谷脇さんが神林社長に聞いてみた！

## 社長インタビュー 第7弾！

未来の  
働き方を  
神林社長に  
聞いてみた



### 風林さん

- 働き方が変化していく中で、より生産性の高い働き方が必要だと感じています。
- 今後、どのように業務改善を進める必要がありますか？

### 神林さん

- 「改善」だと、今ある仕事がベースになります。「改善だと」大きな変化はありません。
- 「今、必要な業務は何か？」という考えをスタート地点にすると、頭の使い方が変わります。
- 「改善」ではなく、新しい仕事の仕組みを考えます。
- 例えば、対決企画は何故取り組むのか？お客さまにはどのように働くことで喜ばれるのか？という考え方をスタート地点にすると考え方が変わります。
- このような取り組みから、派生する業務はやらなければいけません。
- 過去やっていた業務よりも業務量が減る、業務量が増えても効果が上がることが好ましいです。
- 今まで取り組んできた業務内容を疑い、思い切って変えてみると良いかもしれません。

### 谷脇さん


- 「今、何をすべきか」という考え方で物事を整理していくという事ですね？

### 神林さん

- お客さまに「どのように思ってもらいたいか」をスタート地点にすると、今の業務は、「何故取り組んでいるんだろう」という仕事がたくさん出てくると思います。「自分の仕事は何か」を考えると良いかもしれません。

### 谷脇さん

- 今行っている業務をなくして良いのか、組織で業務を変えることが難しいと感じています。



「改善」だと大きな  
変化はありません

今後、どのように  
業務改善を進める  
必要がありますか？



百貨店人として  
どう働きたいか、何をを目指したいか  
という問いかもしれません



日々の業務に活かします

神林さん

- 会社で決めたルール・組織で決めたことは改善できません。「会社・組織」には主体がないからです。**特定の個人の決めたことは、決めた人と話すことで改善されます。**
- 「会社・組織」の一員として、自分たちが提案してもいいと思います。
- 偉い人が決めないと、業務内容を変えられないようだ、組織が停滞しています。
- 偉い人が、現場で何に困っているかわからないとします。困っている内容がわからない人に業務改善をされても困りますよね？
- **自らの業務に責任を持ち、困っていることは自ら変えるという立ち位置でいてほしいです。**
- 「困っている」という声を上げられないとすると、自信がないのかもしれない。
- 本当に困っている人は声を上げます。痛い・寒いのに我慢できるので黙ってしまう人もいます。黙ってしまうのは良くありません。何故寒いのか、痛いのか考え抜いて提案していく必要があります。
- 多くのメンバーから声があがり、皆の声を経営の窓に入れるでもいいです。
- それよりも、**困っていることを直接上司に言うのが一番良く、それが健全な組織です。**

谷脇さん

➤ **上司に、気づいた事を伝え業務改善を行っていく必要があるという事ですね。**

神林さん

- 「業務改善」という問い自体が正しくないのかもしれない。
- 「業務改善」という問いを立てると、解は今の業務をどれだけ減らせるかという事になります。
- その解は今の時代に合った効果を出す仕事の在り方ではないのかもしれない。
- 上司の我々も「業務改善をしてほしい」という問いを出していることもあります。
- **百貨店人として、「どう働きたいのか」、「何をを目指したいのか？」という問いかもしれません。**
- 働き方が変わる中でも、作業は残ります。意味のある作業で効果の出る仕事をしていきたいと思えます。

谷脇さん

➤ **「どのように働きたいのか？」と問われると目線が変わりイメージがしやすくなりました。**

神林さん

- 「紙を減らせ！」と言われると、100枚が20枚になります。
- 「紙は必要か？」と問われると「必要ない」という解が生まれます。
- 問い方を変えると良いアイデアが出てくるのかもしれない。



社長インタビューの内容、  
今後取り上げて欲しいテーマ等、  
こちらからアンケートにお答え  
ください

組合HPが新しくなったうさ！  
＜ログイン方法＞  
ID：53+8桁の社員コード  
PASS：生年月日（例：20220501）



発行所：三越伊勢丹グループ労働組合  
北海道統括支部 札幌丸井三越支部  
外線：(011)205-2525 内線：22525  
発行人：木村 正男

インタビュー動画はこちら

■公式マスコットキャラクター  
「イングちゃん」